

”ひろがる”日高管内の担い手活動

研修手段を工夫し活動を支援（WEBの活用）

- ◆活動年次：令和3年度 （広域推進 担い手）
- ◆対 象：日高管内各担い手組織（青年、女性グループ、指導農業士会、農業法人会）

1 背景と活動のねらい

日高管内は新規参入者が多く、施設園芸経営を中心に増加しており、新規参入者の地域における、位置付けが高まっている。

普及センターは各町・JAと連携し、新規参入者の生産・経営技術の習得を支援。

管内全域を活動範囲とするグループに対する学習活動を支援した。

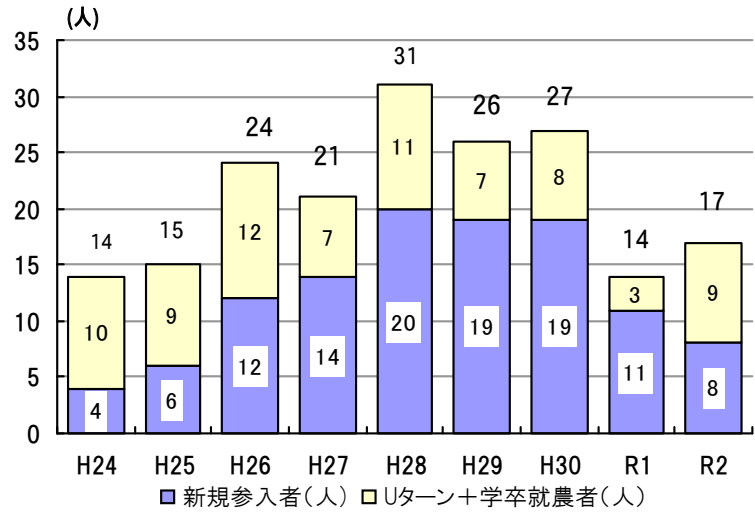


図1 日高管内の新規就農者の年次別推移

2 活動の経過

(1) 青年農業者グループ活動

管内4Hクラブ員が企画運営する日高青年農業研究大会をWEB併用で開催。
プロジェクト発表や各クラブの学習活動について発表と意見交換が実施された。



令和3年度 日高管内農業研究大会

(2) 次代を担う青年農業者ゼミナール

3期生最終年の活動として、現地研修会を実施。
実践活動として、ゼミ生個々が「自家PR資料」を作成した。



ゼミ生の生産現場を視察 自家PR資料の作成

(3) 管内全域で組織する女性グループ

- 馬女ネット**
軽種馬飼養技術や、種牡馬に関する研修を実施
- YUYUネット**
高付加価値化や、女性活躍に関する研修をWEB併用で実施



軽種馬技術研修会 YUYUネット研修会参加

(4) 管内指導農業士・農業士会

管内の先進事例や地域農業振興の取り組みとして、スマート農業・GAPに関する内容の研修会をWEB併用で開催。

会員の動きとして、地域青少年に対する農業体験活動の受け入れ、静内農業高校の「マイスター・ハイスクール事業」への学習協力が行われた。



現地研修会の開催



静内農高への学習協力

(5) 日高生産農業法人会

会員共通の取り組み項目として「GAP・農場HACCP」をテーマに現地研修会を開催。

農業での外国人雇用制度などを学ぶため、研修会をWEB併用で開催。



研修会の開催

3 活動の成果

日高生産農業法人会の GAP実施の動きの広がり

農業生産法人会の会員内では、経営管理の高度化を目指し生産現場における「GAPをする」動きが広がっている。

会員への作業日誌・日報の記帳開始に際して、取組手順への支援を行った。

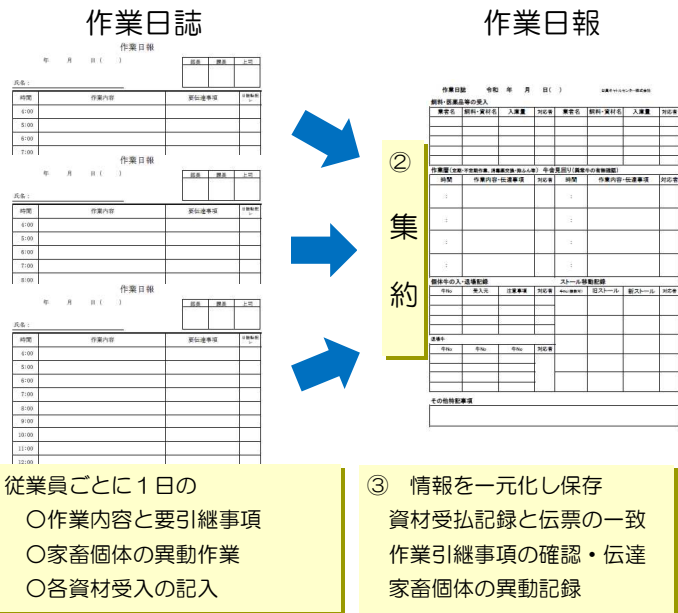


図2 記帳整備の模式図（日高キャトルセンター）

4 今後の活動

- (1)管内の新規参入者・研修生・学卒就農者の交流機会の拡大、4Hクラブのプロジェクト活動を中心とする、課題解決の取り組みの活性化を図る。
- (2)次代を担う青年農業者ゼミナール
4期生を開講し、研修要望に沿った地域リーダーとしての資質向上を図る。
- (3)女性農業者グループ「馬女ネット」及び「YUYUネット」
運営助言と学習活動支援を行う。
- (4)管内新規就農情報の整備を行う
- (5)日高管内指導農業士・農業士
会活動の支援、担い手育成への連携を推進する。
- (6)日高農業生産法人会
GAP・農場HACCP、農畜産物の加工・流通の研修を推進する。